

今年是全国的に暑くなる日が昨年より早く、小松市でも熱中症予防に関する掲示が出ています。熱中症予防には「のどが渇く前に水分補給を行う」「適度な塩分摂取（取りすぎには注意）」「汗をかいたら体を拭き、着替えをする」などしましょう。室内だから熱中症にならないわけではありません。どこでも危険性があるので注意が必要です。

《6月4日から10日まで歯と口の健康週間です!!》

物を食べたり、話したりことに歯は欠かせません。歯が痛いとお食事ができないだけでなく、活動ができない、集中できない、機嫌が悪い、他の病気になってしまうなど色々支障をきたします。



歯磨きは  
体を守る  
最前線

(虫歯はこうしてできている!)



- こんな環境が虫歯になりやすい!!**
- ① 冷蔵庫にいつもジュースや乳酸飲料があり、子どもが自由に飲めるようになっている。
  - ② おやつは歯につきやすいスナック類が多い。
  - ③ 乳児の虫歯は生え変わるからと放置している。
  - ④ 子どもが歯磨きを嫌がるので無理にさせていない。
  - ⑤ フッ素を塗れば虫歯にならないと思っている。
  - ⑥ 子どもが欲しい時にお菓子を食べさせる。

- (歯磨き中の事故を防ぐためには)**
- 歯磨き中に歯ブラシで口の中やのどにケガをする事故があります。死亡事故まで出ているので注意が必要です。
- ・歩かない・  
歯磨きの事故で一番多いのが歩いたり、走ったりして転倒するケースです。転倒すると危険なので歯磨き中は動かないようにしましょう。
  - ・遊ばない・  
歯磨きをしながら他のことをしていると危険です。事故の中には、「寝転んで歯磨き」「ソファの上に立って歯磨き」など遊びながら行っているケースがたくさんあります。
  - ・歯ブラシから手を離さない・  
歯ブラシから手を離すのは、すでに歯磨き以外のことをしているサインです。「歯磨き中は歯ブラシをしっかり持つ」を伝えましょう。

(園の取り組み) 心肺蘇生・AED使用の練習

園内で心肺蘇生が必要になった時に職員がいつでも、誰でも対応できるよう、AEDの使用や心肺蘇生のやり方などの練習を行っています。その様子を紹介します。



胸部圧迫の練習の様子です。人形を使って「どのくらいの力を入れればいいのか」「速度などはどうか」など確認し合いました。



AEDの使用の練習です。機械のガイダンスの指示に従って進めていきます。



職員からは「実際人形を使用して行ってみると力もいるし、焦ってしまう。本当に起こってしまったらどうしようと思うし、できるかどうか不安。日ごろから事故が起こらないように保育をしていかなくはと再度実感した」という感想がありました。